



きざし

勝田第二中学校 学校だより 第21号

令和8年10月16日（金）発行

文責：校長 川上徹行

勝田二中HP ↓

<https://hitachinaka.scho>

<olweb.ne.jp/0820010?tm>

=20260324163759



感動しました、「第51回合唱祭」！

9月から音楽の時間を中心に、どの学級も少しずつ合唱の準備を進めてきました。昼休みや放課後にも楽しそうに練習する姿が見られ、学年ごとのリハーサルも重ね、クラスの歌声がまとまり、きれいなハーモニーへと育っていきました。実行委員やパートリーダーを中心に、声を合わせながら一生懸命取り組んできた成果だと思えます。特に3年生の合唱は、低音の安定した響きや高音の美しさが際立ち、**最高学年としての誇り**を感じさせるものでした。その姿を見た1・2年生も、きっと来年の合唱祭へ向けて、新たな意欲をもったことと思います。どの学級の合唱にも、互いを思いやる気持ちや仲間と作り上げる喜びがあふれていました。会場をあたたかな気持ちにしてくれた素晴らしい歌声を、心からありがとうございますと伝えたいです。

子供たちの健やかな成長のために、今後も保護者並びに関係者の皆様の応援やサポートを、よろしくお願いいたします。（以下は審査結果です。動画配信の案内は後日行います。）

- ・ **1年の部**…金賞 4組、銀賞 2組、銅賞 1組 ・ **2年の部**…金賞 4組、銀賞 2組、銅賞 5組
- ・ **3年の部**…金賞 6組、銀賞 3組、銅賞 1組

※どの学級も練習を生かし、とてもよい合唱を響かせました。

◎ 合唱祭の様子の動画配信もございます。（後日アップロード予定）

【生徒たちの練習や発表の様子】



【審査員の先生からのコメント(抜粋)】

- 1年生（初挑戦） 小学校の同声部合唱からソプラノ・アルト・男性の混声合唱へステップアップ。真っ直ぐで柔らかい声を響かせ、各パートをしっかりと歌いきる立派なステージ姿を見せました。
- 2年生（表現の深化） 大人びて繊細かつ深い曲に挑戦。長いフレーズや広い音域を言葉の意味を大切に表現しました。男子の主旋律もしっかり声が出ており、曲のダイナミックさとまとまりを巧みに表現しました。
- 3年生（集大成） 中学校最後のコンクール。転調や高音域など高度な技術と大きなスケールが求められる難曲に対し、困難や葛藤をクラス全員で乗り越え、深い感動を呼ぶ最高のハーモニーを作り上げました。

今後の合唱を高める3つのステップ（共通課題とアドバイス）

さらに合唱の響きを美しく深めるために、今後も継続して取り組むとよい3つの改善ポイントを教えていただきました。

① 縦の口形による響き（茹で卵のイメージ）

日常会話の口の開け方（喉が閉じた状態）のままでは音の響きが広がりにくくなります。歌う際は「茹で卵を縦に入れるイメージ」で口の中を縦に広げると、音域にかかわらず頭上に抜ける深く美しい響きが生まれます。

② 深い呼吸と声を「遠くに飛ばす」意識（呼吸法）

高音域や長いフレーズで息苦しくなる原因は胸式呼吸にあります。深く息を吸い込む腹式呼吸を意識し、息を乗せて遠くの客席へ声を「飛ばす」ように発声することで、高音も喉に負担をかけず楽

に出せるようになります。

③ 心と技術を揃えるアンサンプルの強化（息・感情・語尾の一致）

真のハーモニーをつくるためには、単に音高を合わせるだけでなく「全員で一緒に息を吸い始める」「同じ気持ちの高まりを声のクレシェンドにする」「語尾の切り方を揃える」といった呼吸と表現の同調が不可欠です。

中央地区駅伝競走大会、大活躍！

中央地区駅伝競走大会（@笠松運動公園）が、14日(水)に行われ、男女ともこれまでの練習の成果を発揮して、見事に中央地区代表となりました。

・駅伝競走…男子…**9位 1'04"08** ①区（3年）②区（3年）③区（3年）④区（3年）⑤区（2年）⑥区（3年）サポートメンバー（3年）（2年）（2年）

女子…**5位 47"49** ①区（3年）②区（1年）③区（2年）④区（3年）⑤区（3年）サポートメンバー（1年）（3年）（1年）※**県大会へ（男女）**

今後の中央地区大会、県大会、コンテスト等の各部の活躍にご期待ください。

※ 中央地区大会、県大会日程等は、↓をクリックしてご確認ください。

<https://hitachinaka.schoolweb.ne.jp/0820010/page/frm5ecf3c0f1c094?tm=20260603131143>

